

3月号 ごあいさつ

2025年問題「超高齢化社会の到来」に打ち克つ!! Vol.2

生産性を向上させるリスキリング戦略の必要性

株式会社 山西 あすなる会顧問
代表取締役会長 西 垣 洋 一

リスキリングとは - 職業能力の再開発、再教育

「リスキリング」とは、新しい環境に適応するために必要なスキルを習得することを指し、技術革新の変化を背景に、これまでとは異なる業務を行なうために新しいスキルを獲得する「事業戦略を実現する」ための手段です。DX やグリーントランスフォーメーション（GX）等の社会変革の流れを受け、欧米諸国の企業では、社員のリスキリングに取り組む動きが広がっています。

なぜ中小企業にリスキリングが必要か

前月号の本挨拶文でも記載させていただきましたが、「2025 年問題」の中で、企業が直面する深刻な影響が人材不足です。特に多くの中小企業では、中堅～大企業との人材獲得競争や、さらにある程度のキャリアを積んだ人材の転職や流出も加速化しているため、人材不足は非常に深刻です。だからこそ、前月号での「働き方改革」の推進に加えて、社員の能力を高め付加価値のある仕事をできるようにするための「リスキリング」と、それを推進する会社の仕組みづくりが今後の人材を確保する上での鍵となります（右図① 参照）。社員一人ひとりの知識やスキルを高めるなどの人的投資を行うことで、企業価値や競争力、ひいては生産性の向上につながると共に、既存事業のデジタル化やデジタルを活用した新規事業を開発していくための人材確保の観点でもリスキリングは必要です（右図② 参照）。

又、DX に限らずリスキリングは競争力の維持・向上の他、イノベーションの促進、社員のエンゲージメント向上、労働市場の変化の適応といった重要な要素を含んでいます。そして、企業が主体的にリスキリングを導入することで、戦略的な人材育成、組織文化の形成、社会的責任の履行等が可能となり、企業全体の成長と持続可能性を高めることができます。

企業が主体となってリスキリングの導入を！

只、リスキリングの導入に際し、目的のないまま新たな技術の取得を奨励してもリスキリング自体が目的化してしまい、社員自身が自ら取り組もうとする姿勢は醸成されません。大切なのは、リスキリングを行うことによって何を得られるのかなど、既存業務の向上や新規事業の創出など企業の戦略に基づいた目的を設定しつつ、本人のキャリアビジョンに寄り添い合意を得ながら進めていくことです（右図③ 参照）。

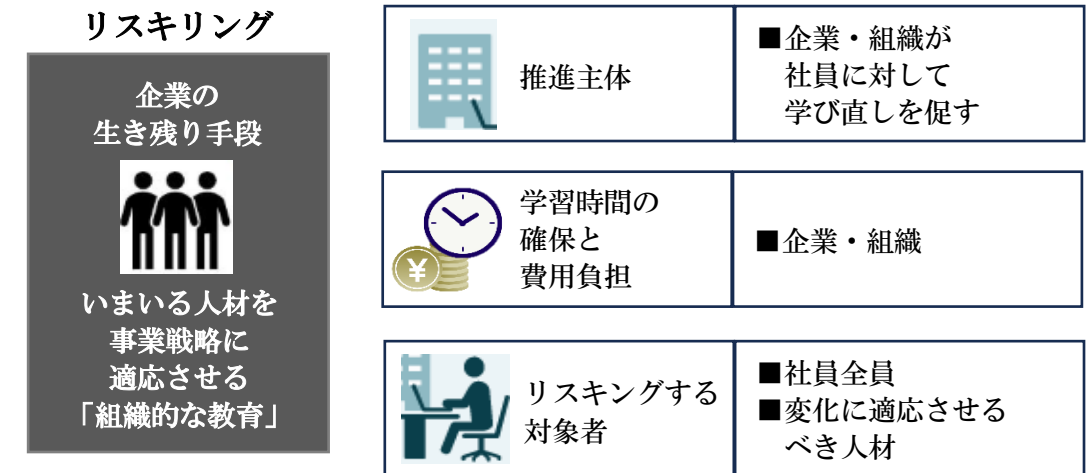
< リスキリング導入のポイント >

- （１） リスキリングする目的を明確にする
「何のためにリスキリングするのか？」、背景や目的を明確に伝える
- （２） 社員の学びの意識を向上させる
事業に必要なスキルを定義し、危機意識を持たせる
- （３） 学んだ後の仕事の機会を提供する
学んだことを発揮して成果を出す“場”を提供し、意欲を高める

今後も人材不足や社員の仕事への価値観・働き方の多様化は加速していきます。学びを事業戦略に紐づけ、社員の自律性・主体性を引き出しながら成果を創出していく人材教育は今後の企業経営において必須となります。いかに事業戦略に必要な人材を確保し、育て、活かしていくか、その手段としてのリスキリングは非常に重要なテーマと言えます。

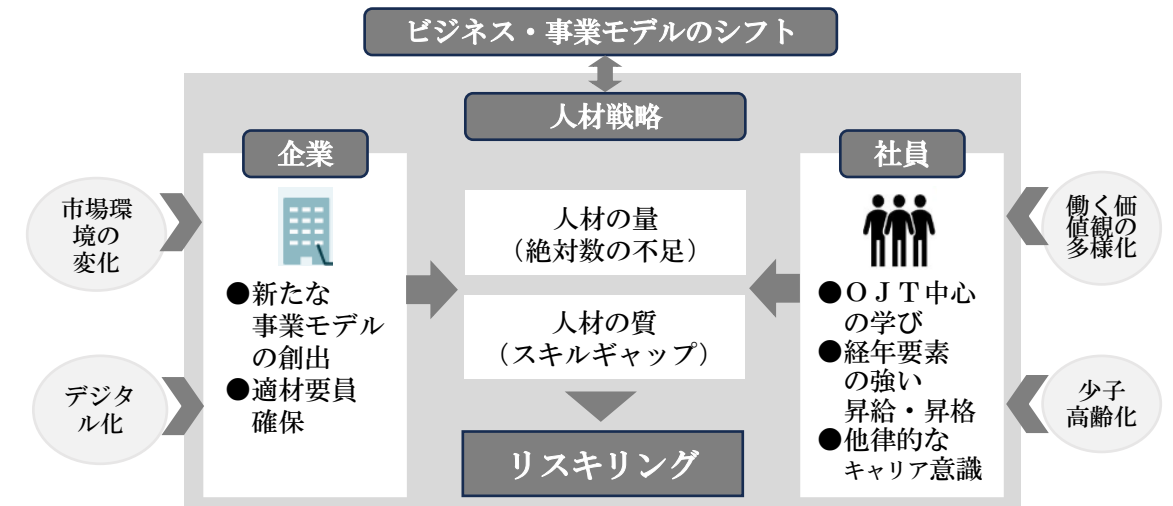
2025 年 3 月吉日

① リスキリングの推進主体とその対象



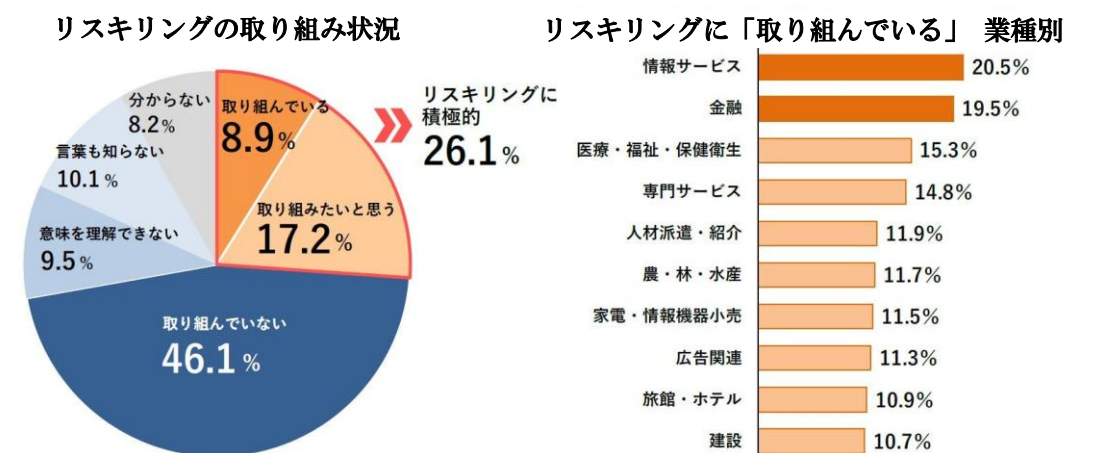
出所：KPMGコンサルティング

② 環境変化とリスキリングの関係



出所：KPMGコンサルティング

③ リスキリングに関する企業の意識調査



出所：帝国データバンク 2024 企業の意識調査